

教えるから 共に学ぶへ ④-1

R7.8.21 (木)
R7.7.16 (水) の3年生英語の
授業レポート
今治市立菊間中学校
志賀 美樹

菊間中学校では、グランドデザインに示したように「学び合い」「聴き合い」「探究的な学習」をキーワードに授業改善を進めています。その第四弾として、志賀が3年1組で研究授業をしましたので、その様子をお知らせします。

B課題；学力の基盤(base)となる課題

A課題；探究活動(advanced)を導く課題

授業の流れ

目標 習得した表現を用いて、場所や状況を設定し、それに適した表現や動作を交えて内容を表現することができる。～スキットづくりをとおして～

1 Small Talk (B課題)

- ・既習のフレーズや Conversation Tips (やりとりのコツ) を使ってペアで会話を続ける。

日頃から帯活動として行っている Small Talk を行いました。Small Talk は「ペアで、即興で行うコミュニケーション活動」です。間違いを恐れないこと、会話を続けようとする意欲、相手の伝えたいことを理解しようとする気持ちなどが大切です。今日の質問は“Have you lived in this town since you were born?” 「生まれてからずっとこの町に住んでいるの？」です。会話からは「菊間が好き」「保育園は〇〇に通っていた」「〇〇歳の時に引っ越してきた」などという英語が聞こえてきました。



生徒はこの活動に慣れていることもあり、100%の生徒が「Conversation Tips を用いたり、相手の答えに対する質問をしたりしながらやり取りができた、おおむねできた」と答えていました。アンケート結果からも普段からの積み重ねが大事だということを改めて感じました。

2 ターゲットセンテンスの復習 (B課題)

- ・ターゲットセンテンス (現在完了形) の復習をする。

次に、今回の授業でのA課題で使ってほしいターゲットセンテンスの復習を行いました。今回は生徒が好きな*Kahoot! を用いての活動です。生徒は、ゲーム感覚で問題を解いていきます。答えがすぐにフィードバックされるため、間違えた個所を修正、確認できます。教員サイドでは一人一人の定着度もしっかり把握しています。今回の学級全体の定着度は58%でしたが、繰り返し使っていくことで定着度を高めたいと思います。



*Kahoot!: 「カフート」。教育現場で使われるゲームアプリ

3 スキットづくり (A課題)

- ・習得した表現を用いて、場面や状況を設定し、それに適した表現や動作を交えて、内容を表現することができる。

A課題を始める前に、ALTとJTE（日本人英語教師。今回は志賀）でスキットの見本を見せました。また、スキットで大切になってくるポイントを三点示しました（場面設定、話の流れ、伝え方）。その後生徒たちはグループで、スキットづくりに取り組みました。



場面設定はそれぞれの班が工夫して行っていました。ただ、教師サイドが使ってほしいターゲットセンテンスを用いた場面設定から少し離れてしまっている班もあり、難しさを感じました。

ある程度ストーリーが出来上がったら、2班ずつペアを組んで、自分たちのスキットを伝え合いました。時間が短かったこともあり、うまく伝えられなかった班もあったようですが、聴き合いにつながる活動になったと思います。

班同士のペア活動の後、再度自分たちのスキットをより良くするための活動を行いました。この時間は主に「伝え方」に重点を置いて考える時間にしました。班によっては、自分たちのスキットを録画し、振り返っている班もありました。アプローチの方法はたくさんあるので、生徒たちがグループで試行錯誤しながら考えていってほしいと、支援をしながら思いました。



授業後のアンケートの結果、16名（回答者17名中）がスキット作成時に自分のアイデアを伝え、より良いスキットが完成するように取り組んでいたことが分かりました。自由記述にも、「文章を作る力や、協力して考える力が身に付いた」「相手にうまく伝えるためにどうしたらよいか話すことができた」などの意見がありました。

参観した教師からは、「班によって課題が難しそうなのもあったが、タブレットを用いるなどして、自分たちで考えようとしていた」「グループでの活動は積極的にできていたが、全体の間では遠慮してしまう」などの意見がありました。

2学期の発表会を楽しみに、今回の授業を終えました。生徒の創造力は教師のそれを大きく上回るものでした。

保護者の皆様へ

右の二次元コードからアンケートに入り、ご意見ご感想をお聞かせ願えたらと思います。お寄せいただいたご意見ご感想は、まとめたのち「④-2」として再度配布します。そして、貴重なご意見は授業改善に生かしていきたいと思っています。ご協力をお願いいたします。

